

ストレージプロファイルが原因でUCS Centralのグローバル化セッションブロックの問題と孤立したLUNのトラブルシューティング

内容

[概要](#)

[前提条件](#)

[要件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[背景説明](#)

[問題：UCS Centralブロックが発生するストレージプロファイル（ブロックが固定の場合）LUNが孤立する](#)

[解決方法](#)

[ストレージプロファイルを削除し、UCS Centralで孤立したLUNを要求する](#)

[シナリオ1：ストレージプロファイルをサービスプロファイルに接続した場合のグローバル化セッションブロックの問題](#)

[シナリオ1の手順](#)

[シナリオ2：サービスプロファイルのグローバル化が成功した後、UCS Centralで孤立したLUNを要求する](#)

[シナリオ2の手順](#)

[関連情報](#)

概要

このドキュメントでは、Cisco Unified Computing System(UCS)Centralでサービスプロファイルをグローバル化する際に発生する可能性がある2つのシナリオについて説明します。表示される2つの問題は、関連付けられたストレージプロファイルと孤立した論理ユニット番号(LUN)によるグローバル化セッションブロックの問題です。このドキュメントでは、これらの問題が発生する原因と、その解決方法について説明します。

前提条件

要件

このドキュメントでは、次の項目に関する知識があることを前提としています。

- Cisco Unified Computing System Manager(UCSM)
- Cisco UCS Central
- Cisco UCS BシリーズおよびCシリーズサーバ

使用するコンポーネント

- UCS 6454ファブリックインターコネクタ(FI)

- UCSMバージョン4.1(1c)
- Cisco UCS Centralバージョン2.0(1m)

このドキュメントの情報は、特定のラボ環境にあるデバイスに基づいて作成されました。このドキュメントで使用するすべてのデバイスは、初期（デフォルト）設定の状態から起動しています。本稼働中のネットワークでは、各コマンドによって起こる可能性がある影響を十分確認してください。

背景説明

- Cisco UCS Centralのグローバル化操作で解決できない問題は、ブロッカと見なされます。グローバル化を完了するには、これらのブロッカをすべてCisco UCSドメインまたはCisco UCS Centralで解決する必要があります。
- Cisco UCS Centralは一般にストレージプロファイルをサポートしますが、ストレージプロファイルのグローバル化は許可しません。Cisco UCS Centralでストレージプロファイルとそのポリシーを作成し、グローバル化されたサービスプロファイルとともに使用する必要があります。
- ストレージプロファイルは、物理ディスクの使用状況を決定する特定のポリシーで設定できます。次に、ストレージプロファイルをサービスプロファイルに接続して、LUNの自動作成と導入を行います。
- 孤立LUNは、仮想ドライブを含むサービスプロファイルが削除された場合、またはサービスプロファイルがストレージプロファイルに関連付けられなくなった場合に発生します。LUNデータは保持されますが、使用可能であることを要求する必要があります。
- Cisco UCS Centralのサイドバーはグラフィカルユーザインターフェイス(GUI)の左側にあり、プロファイル、ポリシー、グローバリゼーションタスクなどのアイコンにすばやくアクセスできます。

問題：UCS Centralブロッカが発生するストレージプロファイル（ブロッカが固定の場合）LUNが孤立する

Cisco UCS Centralはブロッカを検出し、グローバル化に使用されるサービスプロファイルに関連付けられたストレージプロファイルがある場合は常に評価に失敗します。ストレージプロファイルにLUNも含まれている場合は、ストレージプロファイルを削除してブロッカをクリアすると、LUNは孤立します。LUNは、Cisco UCS Centralで再利用されるまで、共有ストレージ内に孤立した状態でコンテンツが保持されます。

解決方法

ストレージプロファイルを削除し、UCS Centralで孤立したLUNを要求する

UCSMのサービスプロファイルからストレージプロファイルを削除すると、この特定のブロッカがクリアされます（シナリオ1を参照）。ストレージプロファイルにもLUNが含まれている場合は、シナリオ2を参照して、Cisco UCS Centralで適切な設定とポリシーを作成することによってLUNを再利用できます。

シナリオ1：ストレージプロファイルをサービスプロファイルに接続した場合のグローバリゼーションブロッカの問題

修正 : Cisco UCSMを起動し、グローバル化に失敗したサービスプロファイルからストレージプロファイルを削除し、UCS Centralでグローバル化を再評価します。

説明 : 関連付けられたストレージプロファイルを使用してローカルサービスプロファイルをグローバル化しようとする、ブロックの問題により評価が失敗します。ブロックは、UCSMのサービスプロファイルに関連付けられたストレージプロファイルで、Cisco UCS Centralでグローバル化が進行中です。

次の図に示すように、関連付けられたストレージプロファイルを使用してサービスプロファイルをグローバル化しようとする、Cisco UCS Centralのグローバル化タスクでブロックが発生します。

jdellipa-localstorage Globalize Local Service Profile

root

Globalization Status: Evaluated with Blocking Issues

Number of Blockers: 1

One or more blockers have been found that prevent this service profile from being globalized. Please review the list of blockers below and resolve them. After the blockers are resolved, you can re-evaluate this service profile for globalizing.

Issue: Local service profile org-root/ls-jdellipa-localstorage references a storage profile.

Recommendation: Globalization of local service profile does not support storage profile.

シナリオ1の手順

ステップ1: UCS Managerを起動し、[Servers] をクリックします。グローバル化に使用するサービスプロファイルを見つけてクリックします。次の図に示すように、[Storage] > [Storage Profiles] に移動します。

Properties for: Service Profile jdellipa-localstorage

General Storage Network iSCSI vNICs vMedia Policy Boot Order Virtual Machines FC Zones Policies Server

Storage Profiles Local Disk Configuration Policy vHBAs vHBA Initiator Groups

Actions: Modify Storage Profile

Storage Profile Policy

Name: Raid-0-StorPro

Description:

Storage Profile Instance: org-root/profile-Raid-0-StorPro

Local LUNs LUN Set Controller Definitions Security Policy Faults

| Name | RAID Level | Size (MB) | Config State | Deploy Name | LUN ID |
|-------|----------------|-----------|--------------|-------------|--------|
| Data1 | RAID 0 Striped | 30720 | Applied | Data1 | 1000 |
| Data2 | RAID 0 Striped | 10240 | Applied | Data2 | 1001 |

ステップ2:[Modify Storage Profile] > [Storage Profile Policy]に移動し、[Storage Profile] ドロップダウンメニューをクリックして、[No Storage Profile] を選択し、[OK] をクリックします。

Properties for: Service Profile jdelipia-localstorage

Modify Storage Profile

Specific Storage Profile: **Storage Profile Policy**

Storage Profile: **Raid-0-StorPro**

Select Storage Profile to use

- No Storage Profile**
- RAID1-Boot
- Raid-0-StorPro**
- test
- Global Policies
- LUN-TESTING

Local LUNs

| Name | RAID Level | Size (MB) | Order | Fractional Size (%) |
|-------|----------------|-----------|----------------|---------------------|
| Data1 | RAID 0 Striped | 30720 | Not Applicable | 0 |
| Data2 | RAID 0 Striped | 10240 | Not Applicable | 0 |

OK

注：以前に導入されたLUNの構成状態は、AppliedとOnlineではなく、Orphanedになりました。

Equipment / Chassis / Chassis 1 / Servers / Server 3

General **Inventory** Virtual Machines Installed Firmware CIMC Sessions SEL Logs VIF Paths Health Diagnostics

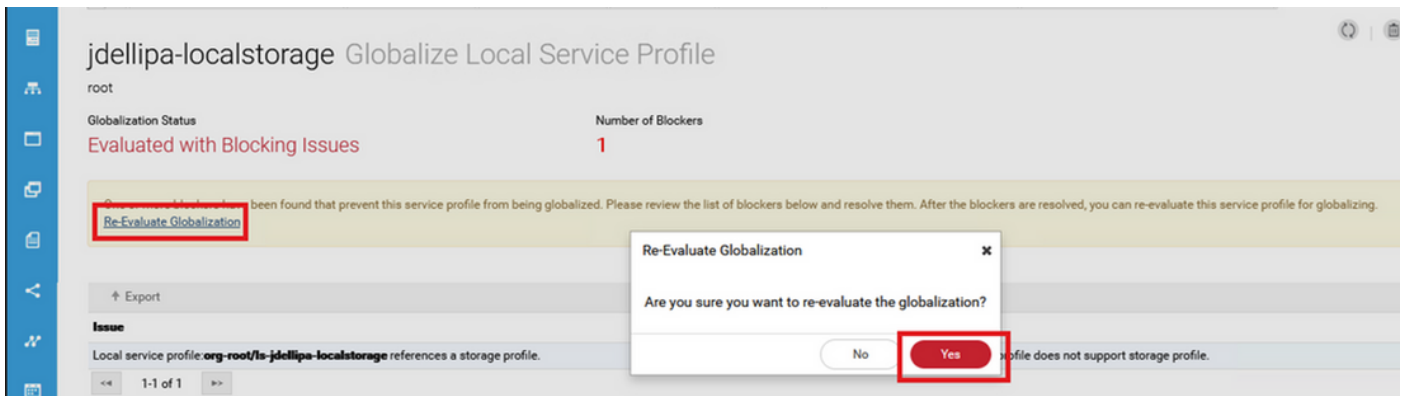
Motherboard CIMC CPUs GPUs Memory Adapters HBAs NICs iSCSI vNICs Security **Storage** Persistence

Controller **LUNs** Disks

| Name | Size (MB) | Raid Type | Config State | Deploy Action | Operability |
|--------------------------|-----------|----------------|---------------------|---------------|-------------|
| ▼ Storage Controller ... | | | | | |
| Virtual Drive Data1 | 30720 | RAID 0 Striped | Orphaned | No Action | Operable |
| Virtual Drive Data2 | 10240 | RAID 0 Striped | Orphaned | No Action | Operable |

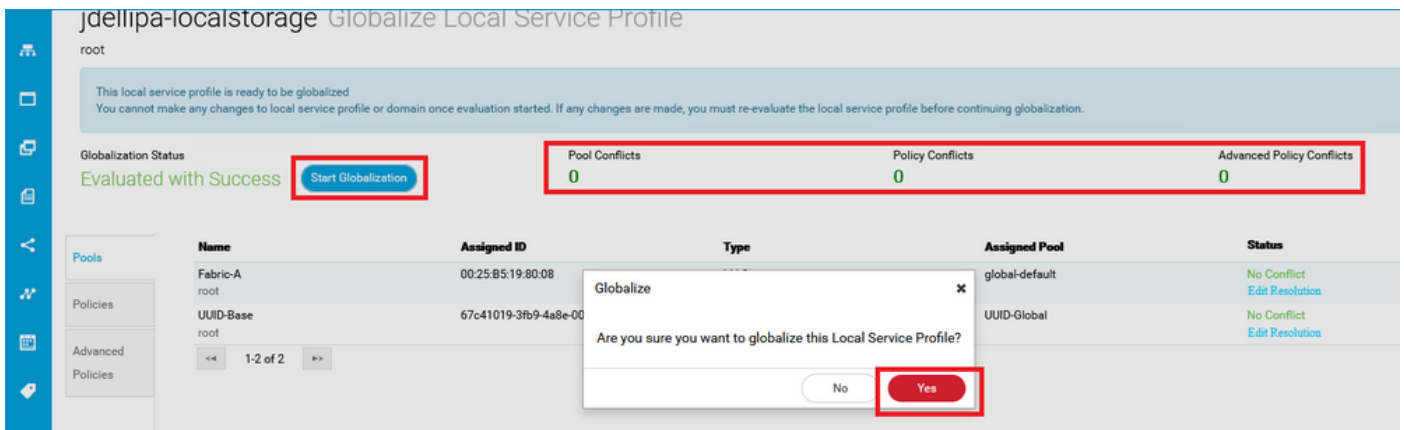
ステップ3: Cisco UCS Centralを起動し、サイドバーから[Globalization Tasks]をクリックします。適切なグローバル化タスク名をダブルクリックし、[Re-Evaluate Globalization] > [Yes]をクリックします。

注：ストレージプロファイルが唯一のブロックである場合、評価は成功します。ストレージプロファイル以外に他のブロックがある場合は、評価を成功させるためにブロックを解決する必要があります。



ステップ4：次の図に示すように、Cisco UCS Centralで[Start Globalization] を選択し、[Yes] をクリックします。

注：プール、ポリシー、または高度なポリシーの競合がある場合は、グローバル化を開始する前に解決する必要があります。

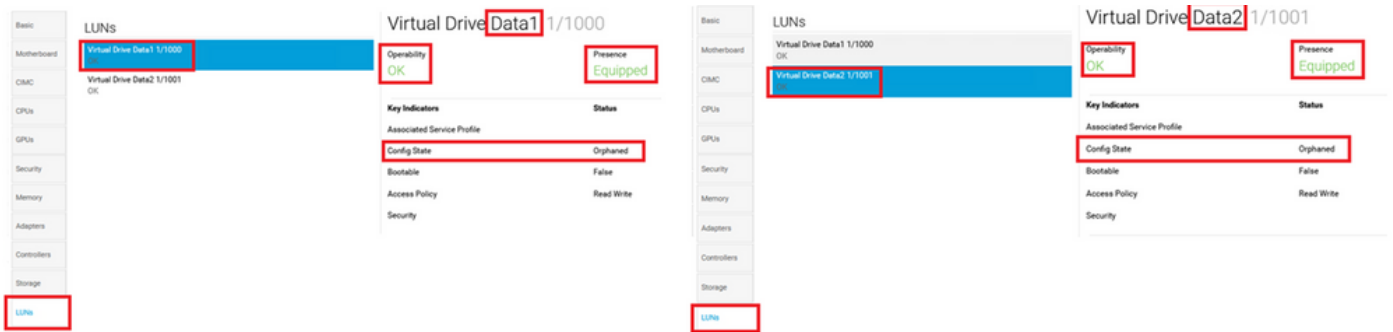


シナリオ 2：サービスプロファイルのグローバル化が成功した後、UCS Centralで孤立したLUNを要求する

修正：Cisco UCS CentralでストレージプロファイルとローカルLUNを作成し、ストレージプロファイルをサービスプロファイルに関連付けます。各LUNを個別に作成して要求し、UCSMの元のLUN名をUCS Centralで新しく作成した要求LUN名と一致させます。

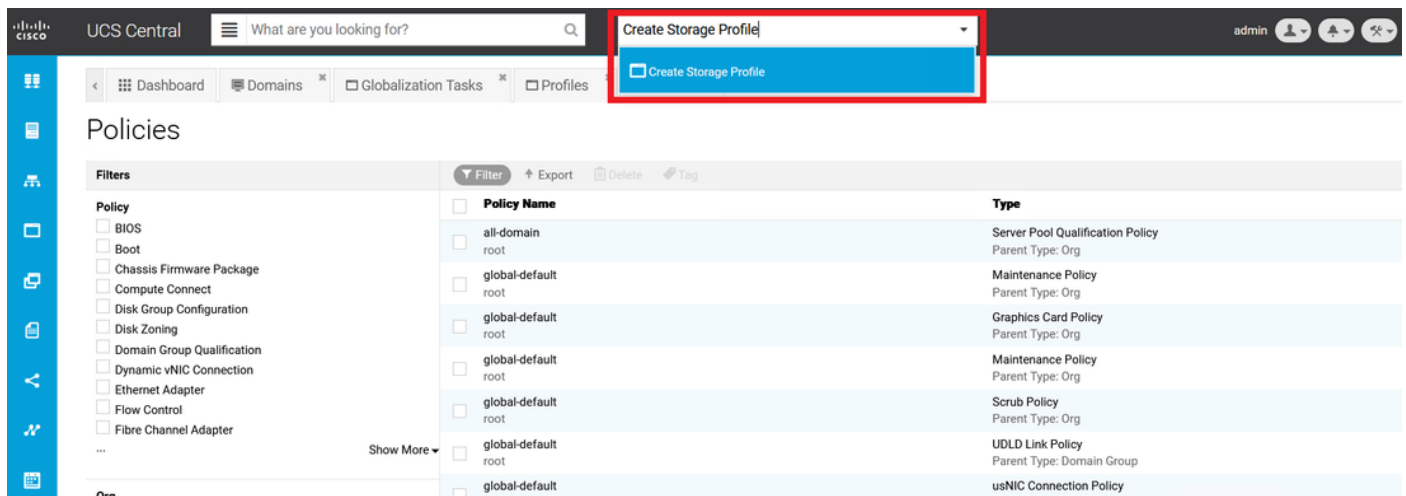
説明：ストレージプロファイルを削除するか、サービスプロファイルから削除すると、LUNは孤立します。LUNを持つストレージプロファイルが、グローバル化に使用されるサービスプロファイルに関連付けられている場合、孤立したLUNが発生する可能性があります。これは、UCS Centralでの評価とグローバル化を成功させるために、ストレージプロファイルをUCSMのサービスプロファイルから削除する必要があるためです。

サービスプロファイルをグローバル化したUCS CentralのサーバからのLUNの設定状態は、孤立しています。このサーバのLUNは以前にUCSMで作成されていましたが、次の図に示すように、現在は孤立して表示されています。



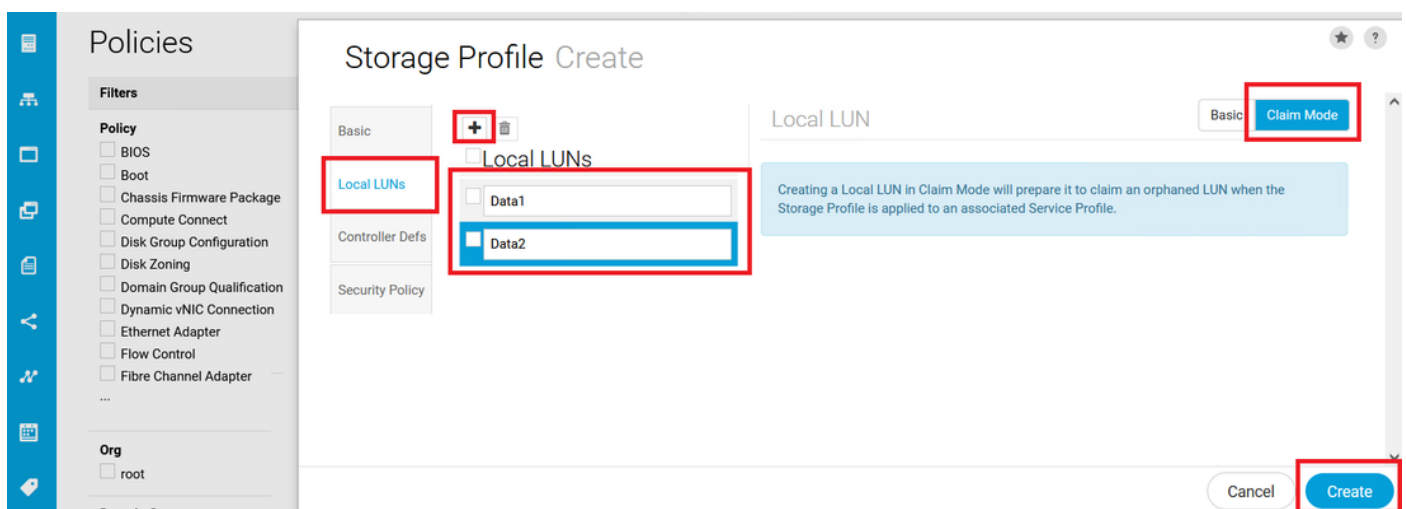
シナリオ2の手順

ステップ1: Cisco UCS Centralを起動し、[Actions] バーをクリックして、[Create Storage Profile] と入力し、**Enter**を押します。



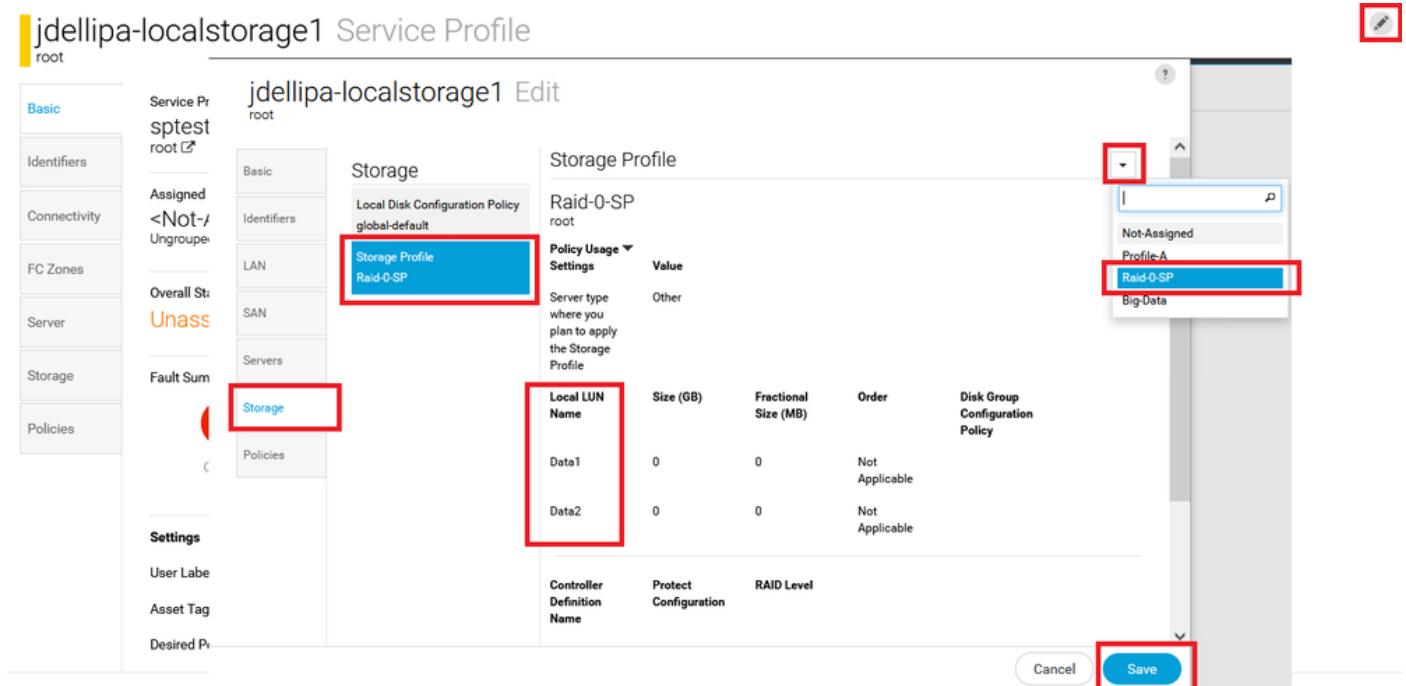
ステップ2: [Local LUNs] > [Add] に移動します ([Add]は[Local LUNs]の横にあるプラスのボタンです)。図に示すように、元のLUN名を入力し、[Claim Mode] > [Create] をクリックします。

注：孤立したすべてのLUNについて、クレームモードをオンにして新しいローカルLUNを追加します。Cisco UCS Centralストレージプロファイル内のUCSMからの元のLUN名と一致させることをお勧めします。

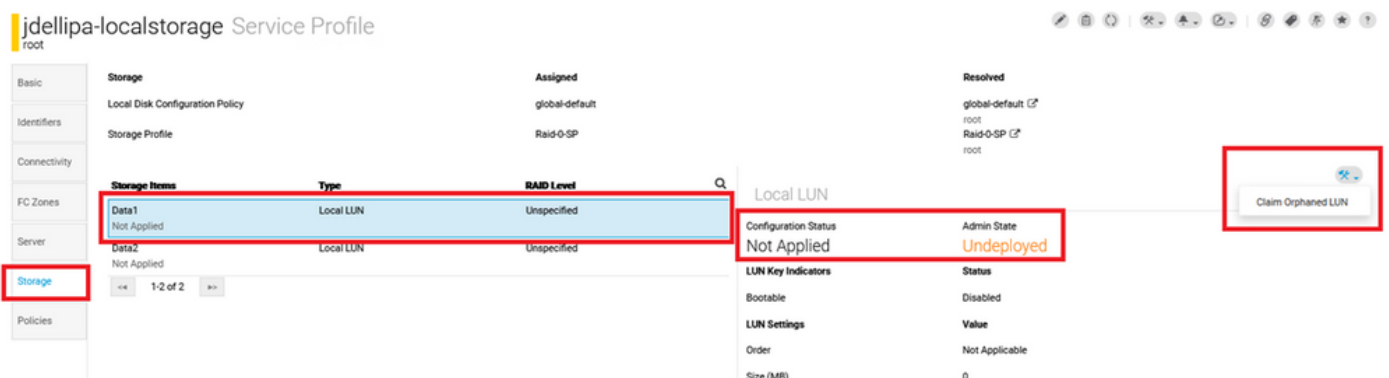


ステップ3：サイドバーから[Profiles] を選択し、適切なサービスプロファイルを見つけてダブルクリックし、右上の[Edit] (鉛筆アイコン) をクリックします。[Storage] > [Storage Profile] に移

動し、[edit]ドロップダウンをクリックして、適切なストレージプロファイル名を選択し、[Save]をクリックします。



ステップ4：サイドバーから[Profiles] を選択し、適切なサービスプロファイルを探してダブルクリックします。[Storage] に移動し、[Storage Items] でローカルLUNをクリックします。次の図に示すように、[System Tools] アイコン> [Claim Orphaned LUN]をクリックします。



ステップ4.1：この図に示すように、クレームLUNの設定先の名前と一致する[LUN] ボックスを選択し、[Claim Orphaned LUN] をクリックします。

jdellipa-localstorage Claim Orphaned LUN

root/jdellipa-localstorage/1011

Do not select an Orphaned LUN with Deploy Action set to Delete.

| LUN | ID | Size (MB) | RAID Type | Deploy Action | Configuration Status |
|---|------|-----------|-----------|---------------|----------------------|
| <input type="checkbox"/> Data2 | 1001 | 10240 | Stripe | No-Action | Orphaned |
| <input checked="" type="checkbox"/> Data1 | 1000 | 30720 | Stripe | No-Action | Orphaned |

Cancel

Claim Orphaned LUN

ステップ5 : サイドバーから[Profiles] を選択し、適切なサービスプロファイルを探してダブルクリックします。[Storage] に移動し、[Storage Items] のすべてのLUNが適用され、オンラインになっていることを確認します。

jdellipa-localstorage Service Profile

root

| | | | |
|----------------|---------------------------------|----------------|--------------------------|
| Basic | Storage | Assigned | Resolved |
| Identifiers | Local Disk Configuration Policy | global-default | global-default ↗ root |
| Connectivity | Storage Profile | Raid-0-SP | Raid-0-SP ↗ root |
| FC Zones | Storage Items | Type | RAID Level |
| Server | Data1 Applied | Local LUN | Stripe |
| Storage | Data2 Applied | Local LUN | Stripe |
| Policies | | | |

Search: Data1 Local LUN

| | |
|----------------------|-------------|
| Configuration Status | Admin State |
| Applied | Online |
| LUN Key Indicators | Status |
| Bootable | Disabled |
| LUN Settings | Value |

関連情報

- [Cisco UCS Centralスタートアップガイド](#)
- 『[Cisco UCS Central Server Management Guide](#)』
- 『[Cisco UCS Central Storage Management Guide](#)』
- [Cisco UCS Centralリリース2.0のリリースノート](#)
- Cisco Bug ID [CSCvu87668](#):Local Service Profile(LSP)にストレージプロファイルがアタッチされていない場合でも、LSPのグローバル化が失敗する可能性があります。
- [テクニカル サポートとドキュメント - Cisco Systems](#)